

Ⅱ 文化芸術施設の概要

1 札幌芸術の森

札幌芸術の森は、「文化芸術都市さっぽろ」のシンボルとして、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ、新しい芸術文化の場として、自然と都市、芸術、文化が調和した環境づくりを目指しており、広く札幌市民に愛され親しまれている施設である。

また、豊かな自然環境の中で、音楽・舞台芸術・工芸などの創作・発表、野外美術館や屋内美術館での美術鑑賞など、施設を活用した多彩な事業を展開しており、札幌の文化芸術の振興や人材育成の拠点として、市における創造的な文化芸術環境づくりに貢献している施設である。



(1) 施設概要

所在地：南区芸術の森2丁目75番地

電話番号：011-592-5111 FAX：011-592-4120

開園時間：午前9時45分～午後5時（6月1日～8月31日は午後5時30分まで）

休園日：4月29日から11月3日まで 無休

11月4日から翌年4月28日まで毎週月曜日（当該日が祝日の場合は翌日）、
年末年始（12月29日～1月3日）

敷地面積：389,653.82㎡

<施設内容>

施設名	面積(㎡)	摘要
芸術の森センター	1,876	管理棟、2階部分はレストラン
野外美術館	75,000	彫刻64作家74点を公開
屋内美術館	3,370	ショップ、喫茶を併設。 展示室851㎡、展示ロビー173㎡、B展示室90㎡など
アートホール	5,834	アリーナ645㎡、大練習室488㎡、中練習室171㎡、小練習室6室合計224㎡、ピアノ練習室25㎡、特別控室31㎡など
工芸館	1,100	展示ホール271㎡、染色研修室89㎡、織研修室92㎡など
陶工房	522	陶芸研修室100㎡など
クラフト工房	1,097	団体工芸体験施設。大・中・小制作室
木工房	212	木工研修室150㎡など
版画工房	430	版画研修室227㎡など
ロッジ	80	休憩、炊事設備あり
絵画アトリエA	145	休憩、炊事設備あり
絵画アトリエB	113	休憩、炊事設備あり
多目的アトリエ	133	休憩、炊事設備あり
有島武郎旧邸	259	有島武郎の資料を展示(無料開放)
野外ステージ	7,000	ステージ・楽屋棟延面積1,766㎡(ステージ面積348㎡)最大観客数5,000人
佐藤忠良記念子どもアトリエ	345	展示室99.62㎡、ワークショップ・ルーム49.69㎡ 図書コーナー24.21㎡など

<所蔵作品数>

(令和7年3月31日現在)

技法的区分	点数	分野別			取得方法別		
		北海道	日本	海外	購入	受贈	管理換等
油 彩	656	636	20	0	8	625	23
水彩・素描	156	108	45	3	23	132	1
日 本 画	43	41	2	0	0	40	3
版 画	356	296	33	27	5	350	1
写 真	85	39	45	1	0	85	0
彫 刻	357	174	80	29	100	182	1
うち野外美術館	74	21	40	13	67	2	5
工 芸	10	9	1	0	0	10	0
デザイン	31	28	3	0	0	31	0
部族芸術	118	0	0	118	0	118	0
合 計	1,812	1,352	269	191	203	1,575	34

(2) 施設の使用料

ア 観覧料

(令和7年7月1日時点)

区分			使用料		備考
			単位	金額	
野 外 美 術 館	個人	一般	観覧1 人1回 につき	800円(11月4日から翌年4 月28日までは、100円)	中学生、小学生及 び小学校入学前の者 は、無料とする。
		高校生、大学生及びこれ らに準ずる者		400円(11月4日から翌年4 月28日までは、100円)	
	団体(20人以上)		700円(11月4日から翌年4 月28日までは、90円)		
屋 内 美 術 館	所蔵 品展	個人	観覧1 人1回 につき	350円	
		高校生、大学生及び これらに準ずる者		150円	
		団体(20人以上)		300円	
	特別 展	個人	3,000円を上限としてそ の都度市長が定める額		
団体(20人以上)					

イ 野外ステージ及びアートホール

(令和7年7月1日時点)

区分		使用料		備考	
		単位	金額		
野外ステージ	入場料の類を徴収しない場合		1日につき	46,000円	(1) 「1日」とは、供用時間をいう。 (2) 市長が供用時間を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、1時間当たりの利用料金を2割増した額を加算する。 (3) 使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。 (4) 備付物件以外の電気器具その他の機械器具を使用した場合は、市長の承認が定めるところにより、その使用に係る実費相当額を徴収する。 (5) 使用時間が単位時間に満たない場合であっても、当該単位時間どおり使用したものとみなす。
	入場料の類を徴収する場合	入場料の類の最高額が500円以下のとき		46,000円	
		入場料の類の最高額が500円を超え2,000円以下のとき		92,000円	
		入場料の類の最高額が2,000円を超え5,000円以下のとき		184,000円	
		入場料の類の最高額が5,000円を超えるとき		368,000円	
アートホール	小練習室	昼間		1,100円	(1) 「昼間」とは、午前10時から午後4時までをいう。 (2) 「夜間」とは、午後5時から午後11時までをいう。 (3) 「昼夜間」とは、午前10時から午後11時までをいう。 (4) 「全日」とは、午前10時から翌日の午前9時までをいう。 (5) 使用者が当該施設の使用を中断することなく、更に継続して使用する場合の全日とは、午前10時から翌日の午前10時までをいう。 (6) 市長が時間区分を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、当該施設の昼間使用の場合の1時間当たりの使用料を2割増した額を加算する。
		夜間		1,100円	
		昼夜間		1,600円	
		全日		2,100円	
	中練習室	昼間		3,700円	
		夜間		3,700円	
		昼夜間		5,600円	
		全日		7,400円	
	大練習室	昼間		11,100円	
		夜間		11,100円	
		昼夜間		16,700円	
		全日		22,200円	
	ピアノ練習室	昼間		1,300円	
		夜間		1,300円	
		昼夜間		1,900円	
		全日		2,500円	
アリーナ	入場料の類を徴収しない場合		昼間	18,500円	
			夜間	18,500円	
			昼夜間	27,800円	
			全日	37,000円	
	入場料の類を徴収する場合	入場料の類の最高額が500円以下のとき	昼間		18,500円
			夜間		18,500円
			昼夜間		27,800円
			全日		37,000円
	入場料の類を徴収する場合	入場料の類の最高額が500円を超え2,000円以下のとき	昼間		37,000円
			夜間		37,000円
			昼夜間		55,600円
			全日		74,000円
入場料の類を徴収する場合	入場料の類の最高額が2,000円を超えるとき	昼間		74,000円	
		夜間		74,000円	
		昼夜間		111,200円	
		全日		148,000円	
特別控室	昼間		800円		
	夜間		800円		
	昼夜間		1,200円		
	全日		1,600円		

ウ 研修室等

(令和7年7月1日時点)

区分			使用料		備考
			単位	金額	
研修室	染色研修室	個人使用	昼間	400円	(1) 「昼間」とは、午前10時から午後4時までをいう。 (2) 「夜間」とは、午後5時から午後11時までをいう。 (3) 「昼夜間」とは、午前10時から午後11時までをいう。 (4) 「全日」とは、午前10時から翌日の午前9時までをいう。 (5) 使用者が当該施設の使用を中断することなく、更に継続して使用する場合の全日とは、午前10時から翌日の午前10時までをいう。 (6) 市長が時間区分を超過し、又は繰り上げて使用することを認めた場合は、当該超過又は繰上時間1時間につき、当該施設の昼間使用の場合の1時間当たりの使用料を2割増した額を加算する。 (7) アトリエ又はロッジを継続して8日以上全日使用する場合の使用料は、当該使用期間のうち8日目以降14日目までの期間にあっては、アトリエについては1日につき3,600円、ロッジについては1日につき2,200円とし、15日目以降の期間にあっては、アトリエについては1日につき2,700円、ロッジについては1日につき1,600円とする。 (8) 備付物件の使用料は、市長が別に定める。 (9) アトリエ及びロッジの暖房等に係る経費並びに備付物件以外の電気器具その他の機械器具を使用した場合の経費は、市長が定めるところにより、その実費相当額を徴収する。 (10) 使用時間が単位時間に満たない場合であっても、当該単位時間どおり使用したものとみなす。
			夜間	400円	
			昼夜間	530円	
		専用使用	昼間	1,600円	
			夜間	1,600円	
			昼夜間	2,100円	
	陶芸研修室	個人使用	昼間	400円	
			夜間	400円	
			昼夜間	520円	
		専用使用	昼間	2,400円	
			夜間	2,400円	
			昼夜間	3,100円	
	木工研修室	個人使用	昼間	300円	
			夜間	300円	
			昼夜間	390円	
		専用使用	昼間	2,400円	
			夜間	2,400円	
			昼夜間	3,100円	
	織研修室	個人使用	昼間	250円	
			夜間	250円	
昼夜間			330円		
専用使用		昼間	3,000円		
		夜間	3,000円		
		昼夜間	3,900円		
版画研修室	個人使用	昼間	320円		
		夜間	320円		
		昼夜間	420円		
	専用使用	昼間	3,200円		
		夜間	3,200円		
		昼夜間	4,200円		
登り窯研修室		1日につき	5,100円		
汎用陶芸窯研修室		1室1日につき	1,100円		

エ アトリエ・ロッジ・駐車場

(令和7年7月1日時点)

区分			使用料	
			単位	金額
絵画アトリエA 絵画アトリエB 多目的アトリエ		1棟につき	昼間	2,700円
			夜間	2,700円
			昼夜間	3,600円
			全日	5,300円
ロッジ		1棟につき	昼間	1,600円
			夜間	1,600円
			昼夜間	2,200円
			全日	3,200円
駐車場	大型自動車	1両1回につき		1,200円
	普通自動車			500円
	回数券使用	普通自動車	回数券6枚つづり	

(3) 利用状況

ア 入園・入館者数

(単位：人)

	総入園者数	野外美術館	佐藤忠良記念 子どもアトリエ	芸術の森 美術館	工芸館	有島武郎旧邸
令和2年度	434,520	61,246	17,399	177,066	124,552	11,007
令和3年度	271,719	22,221	3,816	109,390	68,804	2,197
令和4年度	410,210	61,451	15,679	145,398	107,354	8,044
令和5年度	503,747	60,040	17,862	242,899	74,319	11,785
令和6年度	325,612	52,740	13,710	123,103	37,194	11,375

イ 野外ステージ及びアートホール内施設利用状況

	野外ステージ			アリーナ			大練習室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
令和2年度	16.4	25	2,443	65.2	194	10,715	48.6	142	4,257
令和3年度	67.5	27	8,736	73.9	199	17,330	58.8	142	4,802
令和4年度	24.0	44	9,963	67.8	244	15,056	65.3	219	6,748
令和5年度	21.2	40	13,590	67.9	243	20,128	49.3	171	7,432
令和6年度	19.0	36	16,223	65.3	233	26,161	51.8	179	6,848

	中練習室			小練習室(1～6)			ピアノ練習室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率の 平均(%)	延利用件数 (件)	延利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
令和2年度	58.9	198	1,996	32.4	601	2,359	92.7	417	775
令和3年度	58.6	137	1,617	46.6	645	2,919	98.1	378	851
令和4年度	66.6	234	2,211	52.7	1,140	4,586	99.1	556	1,262
令和5年度	63.8	239	2,771	57.1	1,271	5,077	93.3	534	1,293
令和6年度	68.8	259	2,455	60.2	1,309	5,019	96.2	546	1,505

ウ 工房等施設利用状況

	染色研修室			織研修室			木工研修室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
令和2年度	31.8	116	144	35.9	104	148	99.6	941	1,021
令和3年度	40.8	86	187	14.6	31	51	99.0	753	965
令和4年度	31.3	116	218	29.3	98	170	98.1	1,248	1,492
令和5年度	39.3	158	306	13.4	45	71	99.7	1,169	1,609
令和6年度	39.1	162	265	27.5	114	177	100.0	1,172	1,610

	陶芸研修室			版画研修室		
	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
令和2年度	94.3	877	874	98.3	728	861
令和3年度	88.4	591	591	98.5	714	899
令和4年度	98.1	1,328	1,324	97.8	898	1,113
令和5年度	97.5	1,352	1,352	98.1	866	1,118
令和6年度	99.1	1,383	1,383	95.0	834	1,147

エ アトリエ・ロジック利用状況

	絵画アトリエ A・B			多目的アトリエ			ロジック		
	利用率の平均(%)	延べ利用件数(件)	延べ利用人数(人)	利用率(%)	延べ利用件数(件)	延べ利用人数(人)	利用率(%)	延べ利用件数(件)	延べ利用人数(人)
令和2年度	15.0	78	449	10.6	28	126	14.6	38	171
令和3年度	17.8	74	473	11.6	24	101	13.0	27	81
令和4年度	16.2	111	781	12.4	41	266	19.0	63	300
令和5年度	18.1	122	968	12.5	43	285	21.5	74	457
令和6年度	14.7	100	816	10.2	34	132	23.4	83	422

(4) 事業概要

ア 音楽・舞台芸術事業

事業内容	開催期間	入場者数等	摘要
(ア) 札幌の文化芸術発信事業			
サッポロ・シティ・ジャズ2024	通年 夏 6.7.13-9.29 冬 6.12.5-12.10	144,962人	入場者数 (※)
(イ) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業			
第25期札幌ジュニア・ジャズスクール	通年	41人	参加者数
札幌芸術の森バレエセミナー2024	6.8.10-8.14	111人	受講者数
北海道グループキャンプ2025	7.3.25-3.30	38人	受講者数
(ウ) 芸術文化を通じた市民活動の促進			
パークジャズライブ	6.7.13-7.14	46,572人	入場者数 (※の内数)
ジャズセーバーズ	6.5.14-7.3.30	のべ446人	活動人数
(エ) 質の高い文化芸術の創造・提供事業			
シアタージャズライブ	6.12.5-12.10	3,159人	入場者数 (※の内数)
(オ) 各種団体との連携による文化芸術の振興			
各種団体共催・施設利用促進事業	—	1,135人	入場者数

イ 芸術の森美術館事業

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 展覧会事業		
遠藤彰子展 生生流転	6.4.6-6.16	8,526人
水木しげるの妖怪百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～	6.6.29-8.25	51,296人
国立西洋美術館 内藤コレクション 西洋の写本—いとも優雅なる中世の小宇宙	6.9.7-9.29	6,552人
フィロス・コレクション ロートレック展 時をつかむ線	6.10.12-7.1.5	21,036人
札幌美術展 マイ・ホーム (仮) 一つの時代、二人の女流画家	7.1.18-3.9	3,473人
#岸葉子#八木伸子	6.4.6-6.16	8,356人
艾沢詳子 HappyRe-BirthdaytoFUKUSHIMA+SAPPORO2024	6.9.7-9.29	5,641人
砂澤ビッキアーカイブ経過報告展	6.10.12-7.1.5	14,189人
生誕120年入門・本郷新一彫刻家が遺した愛— 芸術の森40周年記念関連事業	7.1.18-3.9	4,034人
	—	5,440人
(イ) 野外美術館		
ボランティアによる作品解説	6.4.27-11.4	627人

彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ	通年	173 冊
第7回 WanWan フェスティバル	6. 10. 5	150 人
(ウ) 教育普及事業		
佐藤忠良子記念どもアトリエワークショップ	通年	190 人
子どもの文化芸術体験事業 ハロー！ミュージアム	通年	13,509 人
(エ) 利用促進		
ミュージアムショップ運営	通年	—
(オ) 人材育成		
博物館実習生受入	6. 9. 4-9. 6 6. 9. 10-9. 12	4 人
ボランティア受入	通年	29 人

ウ 工芸・工房事業

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 展覧会事業		
第24期工芸作品展示事業「ベストポケット」	6. 4. 27-8. 25 6. 9. 14-7. 3. 9	37,194 人
工芸館コレクション展	6. 12. 5-7. 3. 9	—
第30回芸術の森地区文化祭	6. 11. 9-11. 10	502 人
(イ) 普及事業		
講習会事業（延実施回数：329回）	通年	4,466 人

エ 利用促進

事業内容	開催期間	入場者数等
(ア) 広報活動		
ホームページ、SNSの活用	—	—
総合案内パンフレットや集客チラシの製作・配布	—	—
ニュースリリース「今週の芸森。」	—	—
(イ) 地域連携		
札幌市保養センター駒岡陶芸展第16回芸術の森陶芸展	6. 9. 8-9. 14	417 人
第5回芸術の森地区オリエンテーリング in 芸術の森	6. 10. 5	84 人
第2回芸術の森スクールミュージックフェスティバル	6. 10. 12	参加 70 人 入場 170 人
第30回芸術の森地区文化祭（再掲）	6. 11. 9-11. 10	502 人
雪あかりの祭典	7. 1. 25-1. 26	1,540 人
(ウ) 四季を通じた集客・施設開放事業の実施		
芸森スプリングフェスタ	6. 4. 27	—
芸森バースデー2024	6. 7. 21	—
札幌芸術の森秋の観察会	6. 10. 14	12 人
雪あかりの祭典（再掲）	7. 1. 25-1. 26	1,540 人
(エ) 野外美術館謎解きイベント・時紡ぐミュージアムの約束	6. 8. 3-11. 4	7,509 人
(オ) 芸森アートマーケット	6. 4. 27 ほか5回	1,282 人
(カ) 芸森かんじきウォーク	7. 1. 11-3. 16	1,316 人

2 札幌コンサートホール「Kitara」

札幌市の音楽文化の中核施設として平成9年7月4日にオープン。

楽器の生の音を最大限に引き出せるように音響設計された世界水準のコンサートホールであり、アリーナ型の大ホールとシューボックス型の小ホールの、2つの異なった個性のホールを備えている。

優れた音響環境での演奏会を楽しむことができるよう、全公演にチケットテイク、クロック、座席への案内等を専門に行うレセプションを配置したことも特徴となっている。

「Kitara」の事業展開は「国内外の音楽家が集い、札幌から音楽を創造する空間」、「市民の教育の場としての空間」をコンセプトとしており、主催事業と貸館事業の2つの事業から構成されている。主催事業では国内外の一流アーティストを招き、世界水準の音楽との出会いの場となるような事業など、市民の幅広い期待に応えた事業を展開している。



(1) 施設概要

所在地：中央区中島公園1番15号

電話：011-520-2000

F A X：011-520-1575

規模：建築面積：8,383 m²、延床面積：20,746 m²

開設：平成9年7月4日

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上3階建

開館時間：午前9時～午後10時

休館日：毎月第1・3月曜日（当該日が祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

<施設内容>

施設名	面積 (m ²)	備考
大ホール	2,241.86	客席数2,008席、アリーナ型ワインヤード方式、ステージ20m×13.5m 電動式の分割式オーケストラ迫りを設置 4管編成のフルオーケストラ（120人）まで対応可能
小ホール	758.38	客席数453席、シューボックス型オープンステージ、ステージ14m×8.7m 室内楽から30人編成程度の小編成オーケストラの演奏まで対応可能
大リハーサル室	292.50	公演時のリハーサルに使用するほか、合唱団等の控室としても対応可能
小リハーサル室A	58.50	
小リハーサル室B	51.09	
楽屋	622.02	計19室、大ホール（13室）、小ホール（6室） トイレ、シャワー、洗面台、クローゼット、化粧台等
ギャラリー	52.80	札幌コンサートホールのパネル展示
ショップ	27.65	プレイガイド、コンサート及びクラシック音楽情報等の提供
その他		レストラン、カフェコーナー、託児室、クロックなど

(2) 施設の使用料

ア ホール利用料金 ((7)+(イ)+(ウ))

(7) 施設利用料金

(令和7年7月1日時点)

室名	区分	午前・午後 (9:00~16:00) ※()内は土日祝	午後・夜間 (13:00~22:00) ※()内は土日祝	全日 (9:00~22:00) ※()内は土日祝
大ホール	全面を使用する場合	113,600 (136,400)	151,300 (181,600)	197,700 (237,200)
	合唱団席の部分以外を使用する場合	102,200 (122,600)	136,200 (163,400)	177,900 (213,500)
	3階客席の部分以外を使用する場合	90,800 (109,000)	121,000 (145,200)	158,200 (189,800)
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	79,600 (95,600)	106,000 (127,200)	138,400 (166,100)
	合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	79,600 (95,600)	106,000 (127,200)	138,400 (166,100)
		午前 (9:00~12:00) ※()内は土日祝	午後 (13:00~16:00) ※()内は土日祝	夜間 (17:00~22:00) ※()内は土日祝
	全面を使用する場合	56,800 (68,200)	56,800 (68,200)	94,500 (113,400)
	合唱団席の部分以外を使用する場合	51,100 (61,300)	51,100 (61,300)	85,100 (102,100)
	3階客席の部分以外を使用する場合	45,400 (54,500)	45,400 (54,500)	75,600 (90,700)
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	39,800 (47,800)	39,800 (47,800)	66,200 (79,400)
合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	39,800 (47,800)	39,800 (47,800)	66,200 (79,400)	
室名	区分	午前・午後 (9:00~16:00) ※()内は土日祝	午後・夜間 (13:00~22:00) ※()内は土日祝	全日 (9:00~22:00) ※()内は土日祝
小ホール	全面を使用する場合	51,600 (73,000)	69,000 (97,500)	90,100 (127,200)
	2階客席の部分以外を使用する場合	38,800 (54,800)	51,800 (73,100)	67,600 (95,400)
		午前 (9:00~12:00) ※()内は土日祝	午後 (13:00~16:00) ※()内は土日祝	夜間 (17:00~22:00) ※()内は土日祝
	全面を使用する場合	25,800 (36,500)	25,800 (36,500)	43,200 (61,000)
	2階客席の部分以外を使用する場合	19,400 (27,400)	19,400 (27,400)	32,400 (45,700)

※ 入場料の類で、その最高額が2,000円を超え、4,000円以下のものを徴収する場合又は営利もしくは営業の目的で使用する場合は10割増とする。

※ 上記にかかわらず、入場料の類でその最高額が4,000円を超えるものを徴収する場合又は営利もしくは営業の目的で使用する場合は、催しへの入場の機会が住民に公平に与えられないときの使用料は20割増とする。

※ 小ホールにおいては、アマチュア等非営利の団体・個人の小ホールでの公演及び練習について、直前期間(利用日の前月10日から利用日の15日前まで)の申込みで、施設利用料金、舞台技術料金、レセプション料金等が割引となる直前割引制度がある。

(イ) 舞台技術料

(令和7年7月1日時点)

室名	午前・午後 (9:00~16:00)	午後・夜間 (13:00~22:00)	全日 (9:00~22:00)	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:00)	夜間 (17:00~22:00)
大ホール	62,400		75,000		53,100	
小ホール	41,600		50,000		35,400	

(ウ) レセプション料

(令和7年7月1日時点)

室名	区分	夏期 (4/15~10/14)	冬期 (10/15~翌4/14)
大ホール	全面を使用する場合	113,800	150,200
	合唱団席の部分以外を使用する場合	104,700	141,100
	3階客席の部分以外を使用する場合	95,600	122,900
	合唱団席及び3階客席の部分以外を使用する場合	81,900	109,200
	合唱団席及び2階左右客席の部分以外を使用する場合	91,000	118,300
小ホール	全面を使用する場合	41,000	54,600
	2階客席の部分以外を使用する場合	27,300	36,400

イ リハーサル室料金

(令和7年7月1日時点)

室名	区分	午前・午後 (9:00~16:00)	午後・夜間 (13:00~22:00)	全日 (9:00~22:00)
大リハーサル室	営利又は営業の目的で使わないとき	18,600	24,700	32,300
	営利又は営業の目的で使用するとき	37,200	49,400	64,600
小リハーサル室A	営利又は営業の目的で使わないとき	3,600	4,900	6,400
	営利又は営業の目的で使用するとき	7,200	9,800	12,800
小リハーサル室B	営利又は営業の目的で使わないとき	3,200	4,300	5,600
	営利又は営業の目的で使用するとき	6,400	8,600	11,200
室名	区分	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:00)	夜間 (17:00~22:00)
大リハーサル室	営利又は営業の目的で使わないとき	9,300	9,300	15,400
	営利又は営業の目的で使用するとき	18,600	18,600	30,800
小リハーサル室A	営利又は営業の目的で使わないとき	1,800	1,800	3,100
	営利又は営業の目的で使用するとき	3,600	3,600	6,200
小リハーサル室B	営利又は営業の目的で使わないとき	1,600	1,600	2,700
	営利又は営業の目的で使用するとき	3,200	3,200	5,400

(3) 利用状況

ア 利用件数

室名	年度	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)	利用件数(件)
大ホール	令和4年度	296	241	81.4	264
	令和5年度	301	252	83.7	277
	令和6年度	291	250	85.9	294
小ホール	令和4年度	306	224	73.2	245
	令和5年度	312	222	71.2	251
	令和6年度	303	225	74.3	254

イ 公演利用状況

室名	年度	貸館		自主		合計	
		件数(件)	入場者数(人)	件数(件)	入場者数(人)	件数(件)	入場者数(人)
大ホール	令和4年度	152	173,582	35	42,861	187	216,443
	令和5年度	163	204,899	37	41,158	200	246,057
	令和6年度	165	230,899	35	42,518	200	273,417
小ホール	令和4年度	142	34,367	19	5,957	161	40,324
	令和5年度	156	42,079	24	7,422	180	49,501
	令和6年度	142	38,523	19	6,042	161	44,565
合計	令和4年度	294	207,949	54	48,818	348	256,767
	令和5年度	319	246,978	61	48,580	380	295,558
	令和6年度	307	269,422	54	48,560	361	317,982
平成9年からのホール利用累計		8,878	8,351,842	1,310	1,109,747	10,188	9,461,589

(4) 事業概要

ア 音楽鑑賞事業（音楽のすばらしさを「伝える」）

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を生かし、市民からのニーズが高い、海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による魅力的な鑑賞事業を実施

事業内容	開催期間	入場者数等
オーケストラシリーズ	6. 8. 27 ほか1日	3,522人
ソリストシリーズ	6. 7. 31 ほか5日	2,789人
室内楽シリーズ	6. 6. 8 ほか2日	870人

イ 音楽普及事業（音楽を「広げる」）

札幌の貴重な音楽財産である札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し、音楽の普及を図った。

事業内容	開催期間	入場者数等
オルガン事業	6. 5. 5 ほか5日	7,838人
札幌交響楽団シリーズ	6. 5. 3 ほか4日	6,262人
地元音楽家の活動支援・地元音楽団体との連携事業	6. 11. 30 ほか3日	1,282人
Kitara アフタヌーンコンサート	6. 8. 18 ほか3日	2,707人
ホール開放事業 Kitara あ・ら・かると	6. 5. 3 ほか10日	6,459人
社会包摂事業	6. 6. 22 ほか1日	2,373人
他事業部との連携	6. 4. 20 ほか1日	288人

ウ 教育・人材育成事業（音楽で人を「育む」）

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施するとともに、ホール機能を生かし、世界トップレベルの音楽セミナーを開催し、演奏家の育成に努めた。

事業内容	開催期間	入場者数等
エデュケーションプログラム	6. 5. 3 ほか7日	26,156人
アウトリーチ事業	6. 5. 4 ほか2日	1,478人
セミナー事業	7. 2. 19 ほか10日	425人
地元音楽大学との連携事業	6. 5. 16 ほか2日	567人

エ 全国ホール等とのネットワーク事業

交流協定都市や全国類似ホール等と広く情報交換しながら、共同で事業を企画制作するとともに、音楽家の招聘を行った。また、札幌コンサートホールが招聘する音楽家を他都市に紹介し公演を実施した。

事業内容	開催期間	入場者数等
ネットワーク事業	6. 8. 24	979人

オ PR活動の充実

(7) 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、コンサートスケジュール「KitaraNEWS」を年間6回発行するなど、様々な媒体を活用し積極的な広報活動を行った。

(4) 会員制度の運営

札幌コンサートホールの会員制度である「KitaraClub（有料）」と「Kitara アプリ会員（無料）」の運営を行った。会員に主催事業や施設に関する情報を随時発信するとともに、主催事業のチケット先行販売や割引等の特典提供も行き、チケットの販売促進に努めた。また、主催事業のPRと合わせた入会促進PRも行い、会員増加に努めた。

カ チケット等販売事業

(ア) チケット販売

- ・札幌コンサートホールで行われる公演チケットの対面販売、電話予約販売のほか、インターネット販売を行った。また、札幌コンサートホール以外で行われるクラシック音楽公演のインターネット販売を行った。また、WEBチケット購入画面の英語ページを新たに作成した。
- ・各種団体会員へのチケット販売（札幌市労連共済センター、札幌商工会議所ほか）を行った。

(イ) グッズ販売

- ・札幌コンサートホールのオリジナルグッズや音楽関連グッズの販売に加え、専属オルガニストCDやKitaraセレクトワインの販売を行った。

キ Kitara ボランティアとの連携

札幌コンサートホールの支援組織である「Kitara ボランティア」との連携により、主催事業等の充実化やKitaraのPR活動を図った（令和7年3月現在の登録人数：102名）。

ク その他

(ア) Kitaraの防災訓練コンサートの実施

ホールに親しんでいただくことを目的とし、演奏付き防災訓練や施設見学会等を実施した。

(イ) 秋の中島公園コミュニティ・フェスタ

令和6年10月24日～26日の間、中島公園の魅力高める取り組みとして、札幌市公園緑化協会や札幌市みどりの推進部、中島公園周辺の施設や近隣の事業者と中島公園魅力アップコンテンツを試行。札幌コンサートホールの前庭を活用して、キッチンカー等の出店に協力した。

(ウ) PMF 共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）の趣旨に賛同した共催事業

3 札幌市教育文化会館

本市における文化芸術及び教育活動の中心的な施設として、昭和52年7月に開館した。

施設は、客席1,100席で大迫り・小迫り・オペラカーテンなど高度な舞台機能を有する大ホール、客席360席の小ホール、各種研修室、練習室、リハーサル室、講堂のほか、平成23年3月には屋根や脇正面座席を備え、橋掛の延長を施した本格的な能舞台を整備している。

令和5年12月から令和7年3月にかけて、屋根付き能舞台の改修工事を行い、本舞台、橋掛かりの屋根及び欄間等の新規製作等を実施。令和7年4月、新たに生まれ変わった能舞台のこけら落とし公演を開催した。

その他にも、舞踊、演劇などの制作・発表の場として、また、各種会議や研修会などに利用されているほか、これらの機能を生かした自主事業も展開しており、文化芸術活動の拠点の一つとしての役割を担っている。

(1) 施設概要

所在地：中央区北1条西13丁目
 電話：011-271-5821
 F A X：011-271-1916
 規模：敷地面積：11,929㎡、延床面積：16,372.06㎡
 開館：昭和52年7月（大ホール 昭和55年10月）
 建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上4階建
 開館時間：午前8時45分～午後9時
 休館日：毎月第2・4月曜日(当該月曜日が祝日の場合は翌日)
 年末年始(12月29日～1月3日)



<中野北溟記念室>

日本を代表する書家である中野北溟氏が、自身の書道作品582点(731枚)を札幌市に寄附したことに伴い、同氏の顕彰及び書道作品を市民が気軽に鑑賞できる場として、「中野北溟記念室」を令和7年4月18日、教育文化会館2階に開設した。

・第1回展示：R7.4.17～R8.2月(予定)を会期とし、札幌、北海道に縁のある3名の詩人・俳人(原 子修氏、河邨文一郎氏、源鬼彦氏)の詩文を題材とした作品13点を展示。

<施設内容>

施設名	面積(㎡)	備考
大ホール	3,008	客席数1,100席(1階484席、2階616席)、楽屋7室
小ホール	990	客席数360席、楽屋3室
リハーサル室A	206	アップライトピアノ・鏡・バレエバー
リハーサル室B	87	鏡・バレエバー
練習室A	74	アップライトピアノ
練習室B	74	アップライトピアノ
研修室301	218	135席
研修室302	133	72席
研修室303	41	24席
研修室304	42	24席
研修室305	249	156席
研修室401	163	72席、アップライトピアノ
研修室402	128	54席

研修室 403	204	84席
講 堂	225	固定 156席
ギャラリー	105	全周壁面長さ 38m

(2) 施設の使用料金

(令和7年7月1日時点)

室 名	午前 (9:00~12:00)	午後 (13:00~16:00)	夜間 (17:00~21:00)	全日 (9:00~21:00)
	※()内は土日祝	※()内は土日祝	※()内は土日祝	※()内は土日祝
大ホール	60,900円	60,900円	81,300円	193,900円
	(75,700円)	(75,700円)	(101,600円)	(240,000円)
小ホール	27,700円	27,700円	36,900円	86,800円
	(33,200円)	(33,200円)	(44,400円)	(105,300円)
リハーサル室A	6,400円	6,400円	8,500円	20,100円
リハーサル室B	2,900円	2,900円	3,700円	8,500円
練習室A	2,200円	2,200円	3,100円	7,200円
練習室B	2,200円	2,200円	3,100円	7,200円
研修室301	6,400円	6,400円	8,500円	20,100円
研修室302	4,300円	4,300円	5,400円	13,100円
研修室303	1,300円	1,300円	1,700円	4,000円
研修室304	1,300円	1,300円	1,700円	4,000円
研修室305	7,900円	7,900円	10,800円	25,200円
研修室401	5,300円	5,300円	6,800円	16,100円
研修室402	3,800円	3,800円	5,300円	12,200円
研修室403	6,100円	6,100円	8,400円	19,400円
講 堂	6,800円	6,800円	9,000円	21,200円
ギャラリー	営利又は営業以外の目的で使用する場合			7,000円
	営利又は営業の		美術に関する催物を行う場合	28,000円
	目的で使用する場合		美術に関する催物以外を行う場合	31,500円

※ 割増料金

入場料にかかわらず、営利団体の利用や営業の目的で利用する場合は10割増とする。

非営利団体の利用又は非営利目的で利用する場合でも、入場料等の額（入場料等に段階があるときは、その最高額とする。）が2,000円を超え4,000円以下のもの（大ホールにあつては、1,800円を超え3,500円以下のもの）を徴収する場合は10割増とする。

上記にかかわらず、入場料等の額が4,000円を超えるもの（大ホールにあつては3,500円を超えるもの）を徴収する場合の使用料は、20割増とする。

※ 小ホールの練習限定割引料金

申込日から60日先までの空き日については、コーラス・舞踊・演劇等の練習に限定し、リハーサル室Aと同額の料金で利用できる（条件等あり）。

(3) 利用状況

ア 利用件数

室名	年度	利用可能日数(日)	利用日数(日)	利用率(%)	利用件数(件)
大ホール	令和4年度	243	179	73.7	188
	令和5年度	大規模改修工事に伴い貸出休止			
	令和6年度	140	125	89.3	135
小ホール	令和4年度	246	200	81.3	250
	令和5年度	大規模改修工事に伴い貸出休止			
	令和6年度	142	116	81.7	138

イ 内容別利用状況(件)

年度	邦楽	洋楽	演劇	邦舞	洋舞	合唱	古典	映画	会議	研修	その他	合計
令和4年度	45	177	109	105	271	43	44	28	563	804	1,109	3,298
令和5年度	大規模改修工事に伴い貸出休止											
令和6年度	43	83	89	68	141	44	29	9	256	209	344	1,315

ウ 入場者数(人)

年度	入場者数
令和4年度	265,544
令和5年度	-
令和6年度	223,649

(4) 事業概要

ア 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

事業内容	開催期間	会場	入場者数
教育文化会館リニューアルオープン記念・イベント 石山緑地薪能「あたら夜の月影一覧古考新」	6.8.10	札幌石山緑地 ネガティブマウンド	1,160人
石山緑地薪能「あたら夜の月影一覧古考新」 連携トークイベント 能楽師のお仕事大解剖～奥深き日本の伝統芸能～	6.6.15	札幌市図書・情報館 1階サロン	47人
SUSUKI-NOH 石山緑地薪能トークイベント	6.6.16	COCONO SUSUKINO 3階イベントスペース	112人
教育文化会館リニューアルオープン記念 野村萬斎狂言公演 新作狂言「鮎」	6.10.4-5	教育文化会館 大ホール	1,610人
教育文化会館リニューアルオープン記念 人形浄瑠璃文楽	6.10.18	教育文化会館 大ホール	577人
教育文化会館リニューアルオープン記念 北海道日本舞踊公演-多彩な演目で贈る日本舞踊の魅力	6.11.6	教育文化会館 大ホール	933人
教育文化会館リニューアルオープン記念 北海道日本舞踊公演-多彩な演目で贈る日本舞踊の魅力	7.3.20	教育文化会館 大ホール	664人

イ 札幌の舞台芸術の創造・発表事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
教育文化会館リニューアルオープン記念 教文オペラプログラム北海道二期会創立60周年記念公演 喜歌劇「こうもり」	6. 11. 23-24	教育文化会館 大ホール	1,892人
学校DEカルチャー 教文オペラ 歌のお届けコンサートプログラム	6. 5. 27	厚別西小	137人
	6. 6. 27	栄緑小	262人
	6. 6. 28	山の手南小	195人
	6. 9. 4	手稲東小	309人
	6. 9. 5	二十四軒小	193人
	6. 9. 6	米里小	429人
	6. 10. 30	篠路小	386人
6. 10. 31	白楊小	69人	

ウ 文化施設、文化団体との協働事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
教育文化会館リニューアルオープン記念 第53回SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル	6. 10. 12-13	教育文化会館 大ホール	1,345人
裸足で散歩	6. 10. 22-23	教育文化会館 大ホール	1,422人
人形浄瑠璃2025 さっぽろ人形浄瑠璃あしり座30周年記念公演	7. 2. 7-9	教育文化会館 大ホール	1,102人
人形劇フェスティバル2025年さっぽろ冬の祭典	7. 2. 15-16	教育文化会館 小ホール	628人
第65回記念公演 子ども舞踊祭 ～輝く未来へ grandjete・～	7. 3. 27-28	教育文化会館 大ホール	1,855人

エ 文化芸術活動の支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
<子ども向けプログラムプログラム> 小・中学生のための能楽入門	6. 7. 29-30	札幌市民交流プラザ SCARTS スタジオ1・2	参加者26人 見学者36人
<子ども向けプログラムプログラム> 子ども体験新喜劇ワークショップ	7. 1. 7 7. 1. 10-11	教育文化会館 研修室401	参加者23人 見学者35人
<一般向けプログラムプログラム> 高橋竜太コンテンポラリーダンスワークショップ	6. 5. 19	札幌市民交流プラザ クリエイティブスタジオ	参加者30人 見学者17人
<一般向けプログラムプログラム> 劇場の情報保障セミナー	7. 3. 1-2	教育文化会館 研修室401	参加者29人

オ 学校教育における芸術文化活動の支援事業

事業内容	開催期間	会場	入場者数
中文連演劇ワークショップ2024 初級編	6. 5. 18	札幌開成中等教育学校	356人

第70回高文連石狩支部演奏会	6. 6. 20-21	カナモトホール (市民ホール)	2,140
第39回札幌市中文連演劇発表会	6. 8. 1-3	北星学園女子中学高等学校 スミス記念講堂	出演者 360 人 入場者 784 人
第74回高文連石狩支部高校演劇発表 大会	6. 10. 11-18	教育文化会館 小ホール	3,000 人
第76回札幌市中学校音楽会	6. 10. 27	教育文化会館 大ホール	1,596 人
第19回北海道中学生演劇発表大会	6. 11. 30-12. 1 (初日は開会式・リハーサル)	教育文化会館 小ホール	950 人
第38回札幌市小学校児童音楽祭	7. 2. 1	教育文化会館 大ホール	600 人

カ 文化芸術に関する情報収集・提供事業

公立文化施設等とのネットワークを活用した情報収集、実演家など専門家との交流やメディアの活用、主催事業におけるアンケート実施

4 札幌市民ギャラリー

文化芸術活動の促進を目的に、各種展覧会の拠点的会場として開館。

美術・書道の公募展や学生の作品展など、様々な展覧会の会場として利用されているほか、美術映画会などの主催事業も開催している。

(1) 施設概要

所在地：中央区南2条東6丁目

電話：011-271-5471

F A X：011-232-5539

規模：敷地面積：2,678.13㎡

延床面積：4,189.10㎡

開館：昭和57年2月28日

開館時間：午前8時45分～午後9時

休館日：月曜日（当該日が祝日の場合は開館）、

年末年始（12月29日～1月3日）



札幌市民ギャラリー外観

<展示室・展示ホール面積>

施設名	面積 (㎡)
第1展示室	265.5
第2展示室	200.0
第3展示室	208.0
第4展示室	200.0
第5展示室	204.0
予備展示室	63.5
展示ホール1	141.0
展示ホール2	72.0



札幌市民ギャラリー第2展示室

(2) 施設の使用料金

(令和7年7月1日時点)

種別	単位	美術作品の展覧会又は展示会を行う場合		その他の展覧会等の催物で営利営業を目的とするものを行うもの	
		展示作品の販売を行わないもの	展示作品の販売を行うもの		
第1展示室	1日につき	17,300円	69,100円	78,600円	
第2展示室から第5展示室まで1展示室につき	A室	3,200円	16,000円	12,600円	14,200円
	B室	3,200円		12,600円	14,200円
	C室	3,200円		12,600円	14,200円
	D室	3,200円		12,600円	14,200円
	E室	3,200円		12,600円	14,200円
予備展示室	1日につき	4,700円	15,700円	18,800円	
展示ホール1	1日につき	3,500円	14,300円	16,300円	
展示ホール2	1日につき	2,300円	9,500円	10,700円	

(3) 利用状況

ア 展示室別利用率 (%)

年 度	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	展示ホール1	展示ホール2	予備展示室	合 計
令和4年度	92.6	86.3	85.3	88.7	87.3	81.9	83.3	51.5	82.1
令和5年度	90.8	85.7	84.1	80.3	72.6	79.6	84.4	53.8	78.9
令和6年度	88.9	81.3	84.3	83.3	78.4	83.2	76.7	81.3	59.3

イ 内容別展示室等の利用状況 (件)

年 度	絵画	工芸	彫刻	版画	陶芸	書道	華道	写真	その他	合計
令和4年度	417	131	23	18	38	465	0	70	178	1,340
令和5年度	564	190	79	35	29	736	6	111	232	1,982
令和6年度	477	174	76	109	76	647	0	104	269	1,932

ウ 入場者数 (人)

年 度	入場者数
令和4年度	73,954
令和5年度	146,682
令和6年度	120,628

(4) 事業概要

事業内容	開催期間	入場者数
市民ギャラリー美術映画会 気軽にアートの世界に親んでもらうため、昭和59年から毎年実施している。 〔上映内容〕 「華麗なる美の殿堂 世界の美術館」シリーズ	①6.4.6 ②6.5.16 ③6.6.25 ④6.7.24 ⑤6.8.8 ⑥6.9.19 ⑦6.10.9 ⑧6.12.18 ⑨7.2.5 ⑩7.3.27	1,146人
札幌市民ギャラリー&Kitara 連携事業 スプリング・コンサート ～ポジティブオルガンとフルートの調べ～	6.4.20	230人
市民ギャラリー手づくり作品市場	6.5.18	425人
陶芸体験教室 (市民ギャラリーワークショップ)	6.7.19-20	39人
夏休みおえかきワークショップ (市民ギャラリーワークショップ)	6.8.18	467人
七宝体験教室 (市民ギャラリーワークショップ)	6.7.27	30人
「冬休み出張教室 from 職人力展」&おえかきワークショップ (市民ギャラリーワークショップ)	7.1.5	516人
カルチャーナイト2024 オンライン開催	YouTube 配信期間 6.7.19-8.2	再生回数 291回
夏休み子ども映画会 (市民ギャラリー子ども映画会)	6.8.3	71人
冬休み子ども映画会 (市民ギャラリー子ども映画会)	7.1.5	53人
春の子ども映画会 (市民ギャラリー子ども映画会)	7.3.1	136人
市民ギャラリー ウィンターコンサート	6.12.14	323人
高文連石狩支部美術・書道展	6.8.9-11	413人
札幌市中学校美術・書道展	6.11.13-17	6,342人
中央区東地区連合町内会コンサート	6.12.18	120人

5 本郷新記念札幌彫刻美術館

本市ゆかりの彫刻家 故・本郷新氏の作品を収蔵・展示する美術館として、昭和56年6月29日に開館。平成19年4月1日から本市の公の施設となった。

記念館（旧アトリエ）と本館からなり、彫刻を中心とした美術文化の振興に寄与することを目的として、収蔵作品による常設展のほか、近年においては積極的に特別展や各種美術講座を開催している。



(1) 施設概要

所在地：中央区宮の森4条12丁目

電話番号：011-642-5709 FAX：011-642-5720

開館時間：午前10時～午後5時

休館日：月曜日（当該日が祝日等の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）、

※展示替え等のため臨時休館あり

建物構造：（本館・記念館）鉄筋コンクリート造2階建

敷地面積：（本館）1,165.88㎡（記念館）1,165.35㎡

延床面積：（本館）374.10㎡（記念館）437.07㎡

<施設内容>

展示室等		床面積（㎡）
本館	展示室1	28.50
	展示室2	64.80
	展示室3	25.01
	展示室4	25.65
	展示室5	9.36
	ギャラリー	40.50
	研修室	45.65
記念館	展示室1	51.34
	展示室2	45.36
	展示室3	35.28
	展示室4	32.38
	展示室5	31.50

<収蔵作品数>

（令和7年3月31日現在）

技法区分	点数	取得方法			
		寄贈	寄託	新規	
彫刻	ブロンズ	154	141	1	12
	コンクリート	3	2	1	0
	樹脂	8	7	1	0
	木	14	14	0	0
	石	10	9	1	0
	石膏	365	163	202	0
	テラコッタ	64	57	7	0
	レリーフ	50	34	16	0
	その他	5	5	0	0
	油彩	126	108	18	0
素描	985	122	863	0	
版画	93	37	56	0	
画皿	6	5	1	0	
書	6	6	0	0	
合計	1,889	710	1,167	12	

(2) 施設の使用料

ア 観覧料の額

(令和7年7月1日時点)

区分	観覧料				備考	
	単位		1人1回につき	金額		
				本館及び記念館 で実施する場合		記念館のみで実 施する場合
常設展	個人	一般	1人1回につき	350円	200円	
		高校生、大学生及び これらに準ずる者		150円	100円	
		65歳以上		300円	150円	
	団体 (10人以上)	一般		300円	150円	
		65歳以上		250円	120円	
特別展	個人		その都度市長が定める額			
	団体(10人以上)					

イ 本館展示室、本館研修室の使用料の額

(令和7年7月1日時点)

区分	使用料			金額	備考
	単位				
本館展示室、 本館研修室	両方を使用する場合	営利又は営業以外の目的で使用する場合		1日につき	11,100円
		営利又は営業の目的で使用する場合	美術に関する催物を行う場合		44,500円
			上記以外の場合		50,100円
	本館研修室のみを使用する場合	営利又は営業以外の目的で使用する場合		1時間につき	900円
		営利又は営業の目的で使用する場合	美術に関する催物を行う場合		3,600円
			上記以外の場合		4,000円
展示スペース 本館屋外	営利又は営業以外の目的で使用する場合		1日につき	5,600円	
	営利又は営業の目的で使用する場合	美術に関する催物を行う場合			22,300円
		上記以外の場合			25,000円

(3) 利用状況

年 度	総入場者数 (本館)
令和2年度	10,863人
令和3年度	7,502人
令和4年度	10,104人
令和5年度	9,275人
令和6年度	12,399人

(4) 事業概要

ア 展覧会事業

事業内容	開催期間	入場者数等
◆特別展		
共振一本郷新+北海道の現代アーティスト	6. 6. 15-9. 16	2,288 人
第4回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 藤原千也展 生まれようとした時の光をみたい	6. 10. 5-7. 1. 26	1,905 人
札幌彫刻賞歴代受賞者パネル展	5. 9. 16-7. 5. 25	7,162 人 (令和6年度4,172人)
さっぽろ雪像彫刻展 2025	7. 1. 24-1. 26	1,265 人
◆コレクション展		
コレクション展 石と木<記念館>	5. 4. 29-6. 5. 26	3,563 人 (令和6年度436人)
コレクション展 かく語りき本郷新「彫刻は詩の塊だ!」	6. 1. 19-5. 26	988 人 (令和6年度535人)
コレクション展 2024-2025<記念館>	6. 6. 1-7. 5. 25	3,526 人
コレクション展 本郷新彫刻の設計図リターンズ	7. 3. 8-5. 25	148 人

イ 貸館事業

事業内容	開催期間	入場者数等
北の美大展 (仮)	7. 2. 8-2. 24	494 人

ウ 普及事業

事業内容	開催期間	入場者数等
子どもの美術体験事業 ハロー!ミュージアム	通年	735 人
北海道銀行本店レリーフ「大地」制作記録映像「3人の手」 上映会	6. 4. 11	145 人
彫美連続講座 2024	6. 6. 1 ほかに2回	355 人
造形教室	6. 8. 7、7. 1. 5	56 人
館長の土曜講話	6. 6. 22 ほかに14回	377 人
札幌おしゃべり美術部	6. 8. 4、6. 11. 15	9 人
さっぽろ雪まつり出品 「雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館」	7. 2. 4-2. 11	1,770,000 人 (第75回さっぽろ雪まつり大通会場来場者数)
図書・情報コーナー	通年	—

エ 協力事業

事業内容	開催期間	入場者数等
学校教育への協力	6. 9. 6 ほかに10日	184 人
ボランティアの受入	—	108 人

オ 利用促進

事業内容	開催期間	入場者数等
サンクスデー	6.6.23、6.10.14	601人

カ 第4回本郷新記念札幌彫刻賞

本郷新の功績を記念するとともに、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象に、優れた彫刻作品に「本郷新記念札幌彫刻賞」を贈る事業。受賞作は、札幌芸術の森美術館中庭に約3年間設置される。また、本郷新記念札幌彫刻美術館において、受賞作家の個展を開催する。

第4回受賞作品（令和5年度決定）：藤原千也「太陽のふね」

6 札幌市民交流プラザ

本市における多様な文化芸術の中心的な拠点であるとともに、仕事に役立ち、暮らしをサポートする情報提供を行い、それらを通して多くの人が交流することを目的として整備し、平成30年10月7日に供用を開始。

本施設は、「札幌文化芸術劇場 hitaru」、「札幌文化芸術交流センターSCARTS」、「札幌市図書・情報館」からなり、札幌創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発事業の一環として建設された、放送局やオフィス、公共駐輪場、駐車場などの施設も入居する複合施設「さっぽろ創世スクエア」の一部である。

(1) 施設概要

所在地：中央区北1条西1丁目

規模：敷地面積：11,676 m²

延床面積：37,332 m²

開館時間：午前9時～午後10時

休館日：年末年始（12月29日～1月3日）

※その他、保守点検等のため毎月1回臨時休館有

<施設内容>

ア 札幌文化芸術劇場 hitaru（3階～9階）

ホール（2,302席）、クリエイティブスタジオ（448 m²）、
中小練習室、控室

イ 札幌文化芸術交流センターSCARTS（1階・2階）

SCARTS スタジオ（82 m²×2）、SCARTS コート（165 m²）、
SCARTS ミーティングルーム（36 m²×2）、SCARTS モール（60 m²×3）

ウ 札幌市図書・情報館（1階・2階）

レファレンスカウンター、ミーティングルーム、
コワーキングスペース、データベースコーナー

エ その他

カフェ、レストランなど



さっぽろ創世スクエア外観
低層部分が札幌市民交流プラザ



左上：札幌文化芸術劇場 hitaru

ホール客席

右上：札幌文化芸術交流センターSCARTS

SCARTS スタジオ

左：札幌市図書・情報館

(2) 施設の使用料金

(令和7年7月1日時点)

種別	使用時間	午前	午後	夜間	全日
		(9:00~12:00) ※()内は土日祝	(13:00~16:00) ※()内は土日祝	(17:00~22:00) ※()内は土日祝	(9:00~22:00) ※()内は土日祝
札幌文化 芸術劇場	ホール 全面を使用する場合	282,400円 (313,400円)	282,400円 (313,400円)	470,700円 (522,400円)	983,700円 (1,091,800円)
	ホール 4階席の部分以外を使用する場合	254,200円 (282,100円)	254,200円 (282,100円)	423,600円 (470,100円)	885,300円 (982,600円)
	ホール 3階席及び4階席の部分以外を使用する場合	225,900円 (250,700円)	225,900円 (250,700円)	376,600円 (417,900円)	787,000円 (873,400円)
	大練習室	44,400円	44,400円	74,100円	154,800円
	中練習室1	8,800円	8,800円	14,700円	30,800円
	中練習室2	9,600円	9,600円	16,000円	33,400円
	小練習室1	4,800円	4,800円	8,000円	16,800円
	小練習室2	5,000円	5,000円	8,300円	17,300円
	小練習室3	5,000円	5,000円	8,300円	17,300円
	控室301	1,800円	1,800円	3,100円	6,400円
	控室302	1,800円	1,800円	3,100円	6,400円
	控室303	1,800円	1,800円	3,100円	6,400円
	控室401	9,800円	9,800円	16,400円	34,200円
	控室402	9,800円	9,800円	16,400円	34,200円
	控室403	3,800円	3,800円	6,400円	13,300円
	控室404	3,800円	3,800円	6,400円	13,300円
	控室405	3,700円	3,700円	6,200円	13,000円
	控室406	3,200円	3,200円	5,400円	11,300円
	札幌文化 芸術交流 センター	オープンスタジオ	16,600円	16,600円	27,700円
ワークスタジオA		7,500円	7,500円	12,400円	26,000円
ワークスタジオB		7,500円	7,500円	12,400円	26,000円
プロジェクトルームA		3,200円	3,200円	5,400円	11,300円
プロジェクトルームB		3,200円	3,200円	5,400円	11,300円
	クリエイティブモール (10平方メートル当たり)	900円	900円	1,500円	3,200円

(3) 令和6年度札幌文化芸術劇場 hitaru 事業概要

ア 創造事業

事業名	開催日	会場	入場者数
hitaru オペラプロジェクト「ドン・ジョヴァンニ」	7.3.7、9	ホール	2,963人
「ドン・ジョヴァンニ」合唱オーディション	6.4.13	クリエイティブスタジオ	応募人数 31人
若手音楽家のための稽古見学会（音楽稽古）	6.9.27-29	クリエイティブスタジオ	11人
演出稽古見学会	7.1.10	ホール	116人
「ドン・ジョヴァンニ」への誘い～ハイライト・コンサート	7.1.19	ホール	1,056人
CreativeArtMixVol.3 ClassicalJewelsDX～NewWorld～	7.2.9	ホール	1,083人
CreativeArtMixDanceWorkshop2024	6.7.22	クリエイティブスタジオ	82人
【有料アーカイブ配信】 「CreativeArtMixVol.2～ClassicalJewels～」	6.4.5-5.26	—	視聴人数 55人

イ 鑑賞事業

事業名	開催日	会場	入場者数
新国立劇場バレエ団「アラジン」	6.7.6、7	ホール	3,879人
新国立劇場バレエ団「アラジン」関連イベント 「クラスレッスン見学会」	6.7.6	ホール	195人
新国立劇場バレエ団「アラジン」関連イベント バックステージツアー	6.7.6	ホール	30人
山海塾「降りくるものなかでーとぼり」	7.3.23	ホール	874人
舞踏手によるワークショップ	7.3.22	クリエイティブスタジオ	36人
hitaru のひととき 川井郁子 with 響 Du	6.7.13	ホール	1,133人
hitaru のひととき ANÚNA 神秘のケルティック・コーラス	6.11.26	ホール	1,486人
歌唱ワークショップ	6.11.25	ホール	60人
DaiwaHousePRESENTS 熊川哲也 K-BALLET TOKYO Autumn Tour 2024『マーマイド』	6.9.18	ホール	3,702人
第9回北海道戯曲賞大賞受賞作品 ニットキャップシアター第45回公演「チェーフも鳥の名前」	6.8.24、25	クリエイティブスタジオ	283人
第五回さっぽろ落語まつり（共催）	6.5.24-26	ホール	6,937人
ミュージカル「この世界の片隅に」（共催）	6.6.6-9	ホール	5,526人
舞台「千と千尋の神隠し」（共催）	6.6.15-20	ホール	18,464人
2024HTB ジルベスターコンサート（共催）	6.12.31	ホール	1,607人

ウ 普及・育成事業

事業名	開催日	会場	入場者数
青少年向けバレエ鑑賞事業 (市内中学校 20 校)	6. 9. 6	ホール	1,969 人
配信事業 青少年向けバレエ鑑賞事業 (市内中学校 8 校)	6. 11. 1-30	—	340 人
hitaru のひととき BODY&SOUL Kids★Party	6. 11. 16、17	クリエイティブスタジオ	230 人
hitaru バレエプロジェクト×札幌芸術の森 バレエセミナー公開講座 パリ・オペラ座バレエ団 ジル・イゾアールを迎えて	6. 8. 9	SCARTS コート	91 人
青年団子ども参加型演劇 サンタクロース会議	6. 12. 7、8	クリエイティブスタジオ	216 人
平田オリザ講演会 「わかりあえないことから in Sapporo」	6. 11. 2	クリエイティブスタジオ	124 人
中高生向け演劇ワークショップ 「わかりあえないことから」を体験しよう	6. 11. 3	クリエイティブスタジオ	43 人
札幌大谷大学・札幌文化芸術劇場 hitaru 連携事業アートプログラム 2024 「ドン・ジョヴァンニ」見どころ・聴きどころ	6. 12. 13	クリエイティブスタジオ	124 人
クリエイティブスタジオ シネマシリーズ 8 映画へと導く映画	7. 1. 25	クリエイティブスタジオ	149 人

エ 交流事業

事業名	開催日	会場	入場者数
ブラザフェスティバル 2024 モーリス・ベジャール・バレエ団 2024 年日本公演 「バレエ・フォー・ライフ」	6. 10. 6	ホール	1,577 人

オ 舞台技術向上への取組

事業名	開催日	会場	入場者数
第 5 回 hitaru 舞台技術セミナー 「舞台における器具の安全性～知っていますか？適正な荷重やトルク～」	7. 1. 21、22	ホール	66 人
技術協力支援 (他の劇場、音楽堂等及び実演芸術 団体等に対する舞台監督等の技術協力支援)	—	—	7 公演 (協力公演数)
学生向け hitaru 施設見学会	6. 4. 23	ホール クリエイティブスタジオ	93 人

(4) 令和6年度札幌文化芸術交流センターSCARTS事業概要

ア 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

事業名	開催日	会場	入場者数
SCARTS メディアアーツシリーズ SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト 「時間展望—もっと先の自分へ」	6. 8. 1	SCARTS モールC	31人
SCARTS メディアアーツシリーズ SCARTS×CoSTEP アート&サイエンスプロジェクト 「荒木悠双鼓綱：幕間 BIVALVIA：INTERMISSION」	7. 2. 15-3. 2	SCARTS コート、 SCARTS スタジオ、 SCARTS モールA・ B・C	5,513人
ギャラリーツアー&ワークショップ	7. 2. 16	SCARTS コート、 SCARTS スタジオ、 SCARTS モールA・ B・C	48人
札幌アートコミュニケーターズプレゼンツ おしゃべりアート	7. 2. 24	SCARTS コート、 SCARTS スタジオ	80人
NextYoungArtistAward×SCARTS 連携トーク	6. 11. 3	札幌市図書・情報 館1階サロン	40人
北海道大学 CoSTEP 「IMAGINEHOME, SWEETHOME	6. 11. 6、7	SCARTS スタジオ、 SCARTS モールC	70人
市立高校プレゼンテーション大会 202	7. 3. 9	SCARTS スタジオ、 SCARTS モールC	405人
大学連携コンサート 北海道教育大学岩見沢校 「新大陸とクラシック音楽」	6. 9. 18、19	SCARTS コート	140人
大学連携コンサート 札幌大谷大学「色づく旋 律」	6. 10. 30	SCARTS コート	87人
大学連携コンサート 無料アーカイブ配信	6. 12. 1-31	—	776人
柴田あゆみかみがみの森 切りだす光に包まれ る切り絵の展覧会	6. 4. 27-5. 26	SCARTS コート、 SCARTS スタジオ、 SCARTS モールA・B	17,152人
柴田あゆみスペシャルトークショー	6. 4. 28	クリエイティブスタジオ	122人
NoMaps2024	6. 9. 11-15	SCARTS コート、 SCARTS スタジオ、 SCARTS モールA・ B・C	2,735人
第53回 SAPPORO ぶんだんきょうフェスティバル —展示・いけ花・お茶席部門—	6. 10. 25-27	SCARTS コート、 SCARTS スタジオ、 SCARTS モールA・ B・C	2,853人
さっぽろアートステージ 2024	6. 11. 9-24	SCARTS コート、 SCARTS モールA・B	4,536人
20周年特別企画 メモリアルワークショップ& 展示	6. 11. 9、10、 16、17	SCARTS モールB	402人

University Student ART Competition	6. 11. 9-24	SCARTS モール A	3,060 人
キッズアートフェス	6. 11. 9-24	SCARTS コート、 SCARTS モール B	1,476 人
SCARTS×さっぽろ天神山アートスタジオ「天神山、また、まちにいく。」	7. 2. 8	SCARTS スタジオ	38 人
札幌市立大学デザイン学部公開講座「アートに であう」	6. 7. 6	SCARTS モール C、 札幌市図書・情報 館 1 階サロン	91 人
札幌市図書・情報館セミナー（「女性のための起 業のヒント」ほか）	月 2 回程度	SCARTS コート	584 人
西 2 丁目地下歩道映像制作プロジェクト 西 2 丁目地下歩道映像上映	通年	西 2 丁目地下歩道	—
プラザフェスティバル 2024（「アートセンター ミーティング—地域の交流拠点を考える—」ほ か）	6. 10. 4-6	札幌市図書・情報 館 1 階サロン	1,609 人

イ 文化芸術活動支援事業

(ア) SCARTS 相談サービス 利用件数 90 件

(イ) SCARTS ラーニングプログラム

事業名	開催日	会場	入場者数
公的支援を利用するために—求められているこ とは何か、取り組みを 見直してみる—	6. 10. 20	SCARTS スタジオ	63 人 個別 9 組

(ウ) 公募企画事業

a 令和 7 年度に実施する公募企画事業の応募及び審査

SCARTS 企画公募 2025 応募件数 32 件、採択件数 4 件

b 令和 6 年度に採択した事業の実施

事業名	開催日	会場	入場者数
ホネ茶論 2024（ほか関連プログラム 5 つ）	6. 7. 12、13	SCARTS コート、 SCARTS モール A・B	1,405 人
命日（ほか関連プログラム 2 つ）	6. 8. 24-9. 1	SCARTS コート、 SCARTS スタジオ、 SCARTS モール	3,035 人
あわいのいきものたち 絵本作家が見る札幌の 都市と自然（ほか関連プログラム 3 つ）	6. 10. 12-20	SCARTS コート	1,537 人
「INTEG' LabFesta～音と光で遊ぶ最前線」（ほ か関連プログラム 6 つ）	6. 12. 12-24	SCARTS コート、 SCARTS モール C	1,882 人

(エ) 札幌文化芸術交流センターSCARTS 文化芸術振興助成金交付事業

事業名	開催日	会場	入場者数
令和5年度札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業活動報告会	6. 4. 13	SCARTS スタジオ	22 人
令和6年度札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業助成金交付 決定者説明会・交流会	6. 4. 22	控室 401	17 人
令和6年度札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業活動報告 会	7. 3. 29	SCARTS スタジオ	32 人
令和7年度札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業募集説明会	6. 11. 29、30	SCARTS コート	46 人 個別7組
令和7年度札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業募集	6. 12. 1- 7. 1. 10	—	(申請件数) 特別 18 件 一般 88 件
令和7年度札幌文化芸術交流センター SCARTS 文化芸術振興助成金交付事業審査委員 会	7. 2. 18	ミーティングルー ム1・2	(採択件数) 特別 2 件 一般 14 件

ウ 文化芸術に関する調査研究事業

国や他都市の動向や先進的な文化芸術活動などに関する基礎的な調査や研究を行った。

(5) 広報・利用促進に関する事業

施設入館者数の目標達成を目指し、公演・イベントの周知、チケット販売促進や、情報誌等の印刷物、ホームページ、SNS 等の多様な媒体を活用して、札幌市民交流プラザの機能や事業の広報を積極的に行った。

7 さっぽろ天神山アートスタジオ

札幌国際芸術祭 2014 の開催を契機に、旧天神山国際ハウス（平成 20 年閉鎖）を改修し、市内を始め国内外のアーティストが札幌に滞在しながら創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス（※）」型のスタジオと、市民とアーティストが交流することができる機能を併せ持つ施設として、平成 26 年 5 月 31 日に開館。

アーティストが創造的活動を行う場を提供しながら、その活動を支援するとともに、市民がアーティストと交流し、アートの視点や表現に触れることを通じて創造性を高め、自ら地域の魅力や資源を再発見することで、地域の活性化に繋げることを目指している。



（※）アーティスト・イン・レジデンス：アーティストの滞在型創造的活動、またその活動を支援するシステム。創造的活動を行う者の移動を促進し、活動の活性化やキャリア構築を図るもの。

(1) 施設概要

所在地：豊平区平岸 2 条 17 丁目
 電話番号：011-820-2140
 F A X：011-820-2142
 開館時間：午前 8 時 45 分～午後 9 時
 休館日：月曜日（月曜日が祝日等の場合は翌平日）
 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
 建物構造：鉄筋コンクリート造 地上 3 階地下 1 階建
 延床面積：1,668.88 ㎡

<施設内容>

展示室等	床面積 (㎡)	備考
滞在スタジオ A	19	6 室
滞在スタジオ B	53	6 室
滞在スタジオ C	73	1 室
交流スタジオ A	72	各 1 室
交流スタジオ B	71	
交流スタジオ C	60	



(2) 施設の利用料金

ア 滞在スタジオ

（令和 7 年 7 月 1 日時点）

スタジオ	時間区分	使用料		
		1～7 日目	8～14 日目	15 日目以降
A	1 日（11：00～翌日 10：00） ※連続使用の場合は 11：00～翌日 11：00	860 円/日	590 円/日	430 円/日
B		2,370 円/日	1,630 円/日	1,190 円/日
C		3,270 円/日	2,250 円/日	1,640 円/日

10 月～4 月は暖房費を別途加算

イ 交流スタジオ

(令和7年7月1日時点)

スタジオ	時間区分	使用料
A B C	午前 (9:00~12:00)	1,900円
	午後 (13:00~17:00)	2,400円
	夜間 (18:00~21:00)	2,900円
	全日 (9:00~21:00)	5,700円

時間区分を超過又は繰り上げて使用する場合には、1時間につき570円を加算

(3) 利用状況

ア 滞在スタジオ

	使用可能日数(※1)	使用日	使用率	使用者数(延べ)
令和元年度(※2)	3,621日	2,375日	65.6%	3,196人
令和2年度(※3)	4,628日	1,711日	37.0%	1,775人
令和3年度(※4)	4,654日	1,659日	35.4%	1,760人
令和4年度	4,667日	2,787日	59.7%	3,609人
令和5年度	4,680日	4,010日	85.7%	5,378人
令和6年度	4,667日	3,568日	76.5%	4,518人

(※1) 滞在スタジオの年間貸出日数(年末年始及び改修工事のための休館日除く) × 13室

(※2) 7/1~7/15及び9/1~10/31休館(改修工事のため)

(※3) 4/14~5/31新規利用者の受付休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(※4) 5/4~7/12、8/2~9/30新規利用者の受付休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

イ 交流スタジオ

	使用可能日数(※5)	使用日	使用率	使用者数(延べ)
令和元年度(※6)	651日	297日	45.6%	3,167人
令和2年度(※7)	795日	113日	14.2%	961人
令和3年度(※8)	594日	119日	20.0%	1,329人
令和4年度	924日	288日	31.2%	2,841人
令和5年度	927日	228日	24.6%	2,709人
令和6年度	924日	172日	18.6%	3,217人

(※5) 交流スタジオの年間貸出日数(休館日除く) × 3室

(※6) 7/1~7/15及び9/1~10/31休館(改修工事のため)、
3/1~3/31一般利用休止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(※7) 4/14~5/31休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(※8) 5/4~7/12、8/2~9/30休館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(4) 事業概要

ア 市民交流関連事業

事業内容	開催期間等	参加者数等	摘要
日曜日のスタジオ	6. 12. 22～ 7. 3. 30 (計3回)	参加者 39人	日曜日の天神山アートスタジオを舞台に、アーティストとの座談会や、木炭画制作、仮面づくりなどのワークショップを実施
子ども向けプログラム「アーティストと過ごす 2日間～「チームやめよう」になる！～」	6. 11. 30～ 6. 12. 1	参加者 8人	アーティスト黒田大スケ氏をファシリテーターに迎え、2日間のワークショップを実施
天神山文化祭	6. 9. 22	来場者 1,072人	滞在アーティストと市民、地元団体が交流できる文化祭を開催。音楽演奏、展示、ワークショップなどを実施

イ 国際招へいプログラム事業

事業内容	アーティスト活動期間	摘要
わたしたちはうかんでいる	7. 1. 7～7. 3. 7	米国人アーティストギャノン・マーフィーと日本人アーティスト冬木遼太郎氏を招へい。マーフィーは札幌のブランド SOUTH2WEST8 に協力いただき、本を製作。冬木氏は作品のリサーチのため、道内各施設をめぐり、多くの人と交流した。活動期間中に市民との交流会も実施

ウ 滞在アーティストによる交流イベント等

事業内容	開催期間	参加者数等	摘要
ワークショップ 「関連イベント：旅することのない絵葉書 / A postcard without traveling」ほか	6. 5. 19 ほか	合計 48人	サンミー・カン氏による体験型ワークショップなど、滞在アーティストによるワークショップを4件実施
展示 「雪舞い/Snow dance」ほか	6. 4. 5～4. 7 ほか	合計 9,976人 ※9	ミシェル・ウノー氏による展示など、滞在アーティストによる展示を37件実施
トークイベント フレデリック・ラクロイゼルによるアーティストトーク ほか	6. 4. 10 ほか	合計 419人	アニメーションを制作しているフレデリック・ラクロイゼル氏によるアーティストトークなど、滞在アーティスト等によるトークイベントを23件実施

パフォーマンス 公開台本読み合わせ ほか	6. 3. 30	合計 38 人	エドワソン氏が制作した映像作品の台本読み聞かせを行うなど、滞在者アーティスト等によるパフォーマンスを4件実施
その他 フォーチュン料理展 ほか	5. 8. 30 ほか	合計 48 人	芸術的な要素を取り入れた料理の展覧会など、イベントを3件実施

(※9) 展示の参加者数等は、天神山アートスタジオの来場者数からの推計

8 札幌大通地下ギャラリー500m 美術館

地下コンコースをアーティストの発表の場として提供し、市民が国内外の多彩な芸術作品に触れる機会を創出するとともに、札幌の文化芸術を内外に向けて発信することを目的に、平成 23 年 11 月 3 日文化の日に開設。

年間 4 回の企画展を実施し、市民が気軽に様々な芸術に触れ、創造性を喚起する機会を創出している。



(1) 施設概要

所在地 中央区大通西 1 丁目～東 2 丁目（地下鉄大通駅～バスセンター前駅地下コンコース内）
 照明点灯時間 午前 7 時 30 分～午後 10 時

(2) 観覧料

無料

(3) 事業概要

事業内容	開催期間	概要
令和 6 年度		
vol. 46 渡辺行夫個展「資源カメラ」	6. 4. 27 ～ 6. 6. 26	自然環境にかける負荷を最小限にしつつ新しい表現の可能性を試みることをテーマに、北海道美術を牽引した作家シリーズ第三弾として渡辺行夫個展「資源カメラ」を開催した。
vol. 47 アニマル・ネイチャー	6. 7. 20 ～ 6. 10. 2	地球に生息する動物の多種多様な生態系と自然との関係性、または人間との関係性など、知れば知るほど驚異とも言える動物達に焦点を当てるアーティストの作品を展示した。
vol. 47 The WALL Vol.5 大西 洋「元の素の謎を秘めた初源の森」	6. 7. 20 ～ 7. 1. 8	2019 年から 500m美術館で開催されるシリーズ展「The WALL」、2024 年は岩見沢を拠点に道内外で活躍する大西洋の個展を開催した。
vol. 48 Sister City Brother Project : Daejeon and South Korea	6. 10. 26 ～ 7. 1. 8	国際交流を目的とする姉妹都市交流展「Sister City Brother Project」の第三弾として韓国/大田広域市との交流展を開催した。
vol. 49 「第 12 回 500m 美術館賞入選展」	7. 1. 25 ～ 7. 3. 26	公募により選出された 4 組の作家による企画展 <入選者> 「朝倉 毅、岡 碧幸、高橋 直宏、館田 美玖、堀江 理人、山田 大揮」、「大崎 晴地+KanoCo (赤川 由加)」、「倉富ニ 達広」、「高橋 侑子」
vol. 49 500 メーターズプロジェクト 011	7. 1. 25 ～ 7. 3. 26	500m 美術館のボランティアチームである第 11 期 500 メーターズが、期間限定で「ギョヒャクメーターズ」と改称し、イラストレーター Kinpro と一緒に全長 118m の巨大な「海の壁画」を描いた。

9 大通情報ステーション

平成 19 年 10 月 30 日、市内の文化芸術及び観光に関する情報の収集や提供を行う案内所として、地下鉄南北線大通駅コンコース内に「観光文化情報ステーション」として開設。

平成 27 年 2 月 18 日に、新たに整備された大通交流拠点地下広場内に移転した。

平成 27 年 4 月からは、文化芸術及び観光に関する情報のほか、市内の交通、イベント情報及び都心部のショッピング情報を集約。市民及び観光客にわかりやすく情報提供ができるよう機能の拡充を図り、「大通情報ステーション」として、まちづくり政策局都心まちづくり推進室が運営を行っていた。

ステーションでの有人案内（日本語、英語、中国語対応）のほか、ホームページや隔週発行の情報紙「Weekly press（ウィークリープレス）」によるイベント等周知を行うことにより、文化芸術活動を行う個人や団体の広報活動を支援し、「表現する人」と「表現活動を観たい人」をつなぐパイプ役として機能してきた。

近隣に文化情報発信拠点や観光案内所等の同種の施設があり、機能面の重複が見られることなどから、同ステーションの存廃に係る検討を行い、文化情報の発信については、平成 30（2018）年 10 月に開設した SCARTS に集約することとし、令和 6 年 3 月 31 日をもって廃止した。

(1) 施設概要

所在地：中央区大通西 4 丁目地下

（地下鉄南北線大通駅コンコース横、大通交流拠点地下広場内）

開所時間：午前 10 時～午後 8 時（日・祝祭日は午後 7 時まで）

休業日：年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

規模：28.67 m²

開所：平成 19 年 10 月 30 日オープン（旧 観光文化情報ステーション）

平成 27 年 2 月 18 日リニューアルオープン（大通情報ステーション）

閉所：令和 6 年 3 月 31 日廃止

(2) 利用状況

年度	来場者数	HP アクセス数	印刷物取扱数
令和 3 年度	13,475 人	64,948 件	930 件
令和 4 年度	38,311 人	73,131 件	1,735 件
令和 5 年度	48,901 人	178,849 件	1,669 件



大通情報ステーション



ホームページ

10 あげぼのアート&コミュニティセンター



あげぼのアート&コミュニティセンターは、平成16年3月に閉校した旧曙小学校跡施設を再整備し、文化芸術を発信し、地域とともに発展する施設として、平成21年11月23日にオープンした。

施設設置のメインテーマは「札幌の文化芸術の時代を拓く拠点」「文化芸術が地域力を高める拠点」「子どもも高齢者も暮らし続けられるまちの拠点」の3つであり、管理運営団体選定委員会の選考により選定された、特定非営利活動法人コンカリーニョが施設の運営を行っている。

(1) 施設概要

所在地：中央区南11条西9丁目

電話：011-513-6181

FAX：011-513-6182

構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上3階建

敷地面積：6,785 m²

延床面積：3,266 m²（うち校舎棟 2,380 m²、体育館 886 m²）

主要施設：教室等（19室）、体育館

開設：平成21年11月23日

※旧曙小学校の開設は昭和26年8月（札幌最古のRC造校舎）

<施設内容>

ア 長期利用貸室

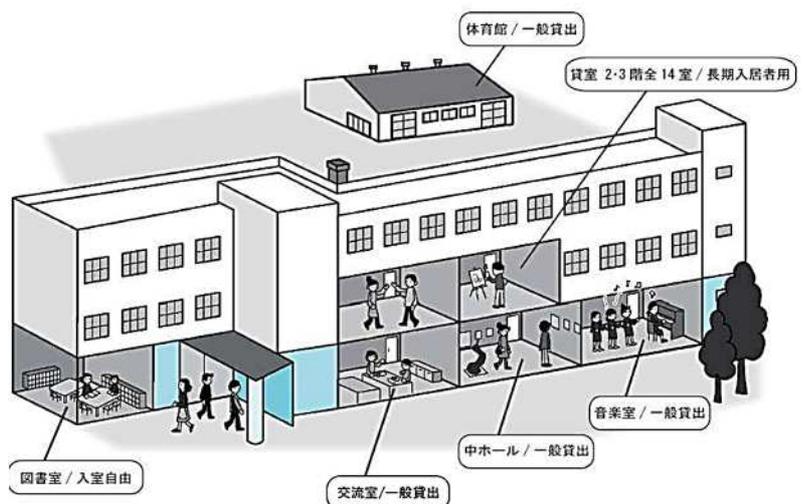
校舎棟2階、3階の全14教室を、長期利用スペースとして文化芸術活動を行う個人、団体に貸し出している。

イ 開放スペース

図書室・グラウンドを、誰でも利用できるスペースとして開放している。

ウ 一般貸出しスペース

体育館・中ホール・音楽室・交流室を、時間単位・半日単位等により貸し出している。



(2) 利用料金

ア 長期利用貸室

(令和7年7月1日時点)

室名	区分(室数)	面積	賃料(月額)
貸室 A	小 (2室)	約6坪 (3m×7.1m)	26,000円
貸室 B	中 (2室)	約12坪 (6m×7.1m)	44,000円
貸室 C	大 (8室)	約19坪 (9m×7.1m)	56,000円
貸室 D	特大 (2室)	約28坪 (9m×10m)	68,000円

イ 一般貸出スペース

(令和7年7月1日時点)

室名・利用条件等	区分(曜日・時間帯等)	料金	備考
体育館	平日(午前・午後) 9:00~18:00	2,000円/1時間	11月~3月は冬期暖房費として別途1,300円/1時間
	平日(夜間) 18:00~21:00	3,000円/1時間	
	土・日・祝日 10:00~20:00	3,200円/1時間	
中ホール (15m×7.1m) ※ アート割引: 演劇や演奏、合唱、ダンスなどの文化芸術活動の練習時には、割引料金を適用する。	午前(9:00~12:30)	4,800円/区分 ※3,800円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途600円/区分
	午後(13:00~17:30)		
	夜間(18:00~22:00)		
	終日(9:00~22:00)	14,400円/日 ※11,400円/日	
音楽室 (9m×7.1m)	午前(9:00~12:30)	2,800円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途500円/区分
	午後(13:00~17:30)		
	夜間(18:00~22:00)		
	終日(9:00~22:00)	8,400円/日	
交流室	午前(9:00~12:30)	2,000円/区分	11月~4月は冬期暖房費として別途500円/区分
	午後(13:00~17:30)		
	夜間(18:00~22:00)		
	終日(9:00~22:00)	6,000円/日	

(3) 利用状況 ※令和6年度

ア 長期利用貸室

稼働率	活動人数
100.0%	7,249人

イ 一般貸出スペース

室名	利用件数	稼働時間	稼働率	利用人数
体育館	1,182件	2,618.5時間	75.7%	18,930人
中ホール	618件	2,525.5時間	68.6%	9,768人
音楽室	597件	2,686.3時間	72.9%	6,402人
交流室	168件	856.0時間	23.2%	1,845人
合計	2,565件	8,686.3時間	59.9%	36,813人

11 ターミナルプラザことにパトス

ターミナルプラザことにパトスは地下鉄琴似駅の構内にあり、平成5年に開設された芸術・文化活動などを行うことができる多目的スペースである。

施設はイベントホール・スタジオ・ギャラリーからなり、コンサートやイベントなどの各種催し物のほか、会合や展示会・講習会など、幅広い用途に利用することができる。

管理運営は特定非営利活動法人コンカリーニョが行っており、貸館事業のほか、市民の芸術文化を応援する各種事業を実施し、地域に根ざした活動を目指している。

(1) 施設概要

所在地：西区琴似1条4丁目（地下鉄琴似駅地下2階）

電話：011-612-8383

FAX：011-612-6656

総床面積：534.29 m²

＜施設内容＞（利用料金はいずれも令和7年7月1日時点）

ア イベントホール

固定席を持たないオープンスペース。

演劇・ダンス・コンサート・ピアノの発表会や作品展など多目的に利用可能。

利用時間：10：00～22：00 ※年中無休（受付時間 13：00～20：00）

広 さ：156.52 m²（17.2m×9.1m）

利用料金：平日 49,500 円（全日）、土日祝日 77,000 円（全日）ほか

観客収容：最大 99 名

イ スタジオ（3室）

バンドやピアノなど各種音楽の練習用として利用可能。

利用時間：平日 17：00～22：00、土曜 13：00～22：00、日曜・祝日 13：00～20：00

※月曜休業（月曜祝日の場合にはその翌日）

広 さ：スタジオA（15 m²）、スタジオB（11 m²）、スタジオC（10 m²）

利用料金：スタジオA・B・Cいずれも 一名での利用 1時間 500 円

三名以上での利用 1時間 1,500 円

ウ ギャラリー（2区画）

利用時間：スタジオ営業時間と同様

広 さ：ギャラリーA 33.51 m²（5.5m×5.6m）、ギャラリーB 33.51 m²

利用料金：ピアノ利用なし 1時間 1,000 円

ピアノ利用あり 1時間 1,000 円＋ピアノ利用料＋人数加算料

(2) 利用状況

令和4年3月1日から同年7月16日までは、改修工事のため休館した。

ア イベントホール

年 度	利用件数 (件)	利用人数 (人)	稼働率 (%)
令和4年度	168	2,237	15.64
令和5年度	333	8,583	31.01
令和6年度	420	9,604	39.11

※稼働率=利用件数/利用可能件数(稼働日数×3区分)×100

イ スタジオ (3室)

年 度	利用人数 (人)	利用時間 (時間)	稼働率 (%)
令和4年度	0	0.0	0.00
令和5年度	462	693.5	12.48
令和6年度	1,366	1,471	27.74

※利用人数及び利用時間は3室の合計

※稼働率=利用時間/利用可能時間数(1室あたり時間数×3室)×100

ウ ギャラリー

年度	A【壁面】	A【専有】	B【壁面】	B【専有】
	利用件数 (件)	利用件数 (件)	利用件数 (件)	利用件数 (件)
令和4年度	0	0	0	50
令和5年度	0	15	0	59
令和6年度	2	9	2	24